

# 中華思想と現代中国

横山宏章



210781131 小川廉祐

# 1. 民主について

『人治主義は克服したか』

ア) 「政は正なり」 ⇒ 政治は正しい政治理念を実現

a) 正しい政治理念とは何か？

→ 地域による価値観の違い



**世界共通の「正しい」は定義不可**

イ)中国における正しいとは

a)「仁・義・礼」

仁：利己的な欲望を抑制

義：無欲、有言実行

礼：仁を具体的な行動として表現

b)『至善に止まる』

至善 = 英語ではBEST

→何事も至上至善

 **絶対的な善の希求**

ウ)中国から見た日本の過ち

a)中華世界の侵略

⇒「中国が親、日本が子」という考えに矛盾

b)日本の天皇制をアジア世界に強要

c)西欧的な民主的議会制度の採用

(多数政党による多元主義的な道)

d)アメリカへの媚び売り、中国と敵対

⇒優位性の強調

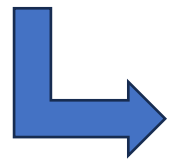
## 2. 自由について

『人権は無視されていいのか』

ア)新しい人権白書

a) 中国の人権問題の遅れ

⇒社会的発展の遅れが原因



西欧列強や日本の侵略・植民地化によるもの

## イ) 人権白書の項目

a) 人民の生存権と発展権の改善

b) 公民の政治的権利の保障

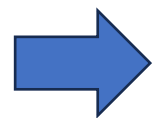
c) 人権の司法保障

d) 公民の経済・社会・文化権利

e) 婦女・児童の権利の保護

f) 少数民族の平等権利と特色の保護

g) 人権領域を積極的に発展させる対外交流と協調



**中国では生存権が第一**

ウ) 現在も「バラバラな砂」

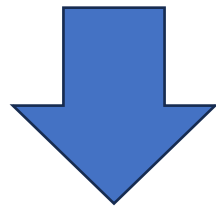
a) 現在の人権白書は政治的自由に無関係

⇒ 共産党の政策に矛盾

b) 中国の政治形態が問題

⇒ 資本主義的個人経営の容認

→ 自分たちだけの金儲け（拝金主義）が横行



**社会のためより個人のために利益を誘導**

### 3. 自立について

#### 『弱者の戦略としての以夷制夷戦略』

ア) 以夷制夷戦略とは何か

a) アヘン戦争で軍事的な敗北

⇒ 敵国同士の対立 → 自国への害なし

b) 李鴻章の苦悩

⇒ 日本：中国の永遠の大患（たいかん）



c) 外国に援助を求め続ける孫文

⇒ 日本：以夷制夷における利用対象

イ) 以夷制夷戦略のゆくえ

a) 以夷制夷戦略は継続

(中国が絶対的な権力を保持しない限り)



## 4. 統一について

『大統一は崩れないのか』

ア) 大統一とは

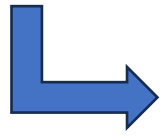
a) 大統一：帝国の権力をすべて中央に集中

b) 歴史的に見た大統一

⇒ 国民党も共産党も大統一の概念を尊重

c)大統一の危機

⇒1911年の辛亥革命



民族主義の登場

(民族の独立→権力の分散→大統一の崩壊)

d)五族協和による大統一の維持

⇒漢民族を中心とする民族共存

## 5. 日中関係について

『歴史認識の違いが物語るもの』

ア) 今世紀最大の日中摩擦

a) 中国からの輸入規制のセーフ・ガード問題

b) 歴史教科書問題

c) 靖国神社参拝問題

➡ トラブルの発生源：日本側

⇒ すべての問題が未解決

イ) 日中間最大の問題

a) 台湾問題と歴史認識問題

⇒ 日本人の一部の正しい歴史認識の欠如が問題  
(中国側の祖国統一という主張に矛盾)

b) 日本人の統一支持派

⇒ 一部の日本人：台湾と中国の統一を熱望

## 6. 結論

20世紀の東アジア ⇒ 日本が牽引

→ 21世紀も同じでない可能性

21世紀の日本にとっての脅威 ⇒ 中国の成長

(東アジアの主役が中国に交替の可能性)



**中国の目標における「本質」の理解が重要**